

《「盗撮」によるトラブル》

北海道教育委員会
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

実際に起こった事例

8月に起こったインターネットに関するトラブルの中から、不適切な投稿が原因で起った事例を参考に、どのような投稿内容がトラブルに繋がるのか考えてみましょう。

《事例》

2014年8月下旬頃、Twitterに複数の盗撮画像を公開していた男子高校生が掲示板サイトで話題になった。男子生徒は、電車内で盗撮したと思われる女性の画像を「今日電車で目の前に座ったとびきりのブスをあげるよ」という中傷とともに投稿した他、Twitterで確認できただけでもこのような盗撮行為を5度繰り返していた。

掲示板サイトでは、すでにこの男子生徒の名前や学校を特定し、いわゆる「晒し(さらし)」の対象としており、学校や教育委員会に苦情の連絡を行ったという掲示板利用者の報告も見られた。

※「晒し(さらし)」とは、特定した個人情報をインターネット上に載せて広める行為



増加する「盗撮行為」

面白半分で知らない人を盗撮した画像をインターネット上に公開し、問題になるケースが増えています。盗撮が増えている背景として、下記の3点が考えられます。

- ・ スマートフォンが普及し、どこでも気軽に写真が撮れるようになったこと
- ・ 「無音カメラ」と呼ばれるスマートフォンのシャッター音を消すアプリが出回っていること
- ・ 他人の写真を勝手に撮ることが悪いことだとわからない子どもが増えていること

他人の写真を勝手に撮り公開することは、「軽犯罪法」や「迷惑行為防止条例」など法に触れる犯罪行為にあたる可能性があります。また、インターネット上に公開することは、写真を公開された人に被害が及ぶとともに、盗撮した本人も大きなトラブルに巻き込まれる可能性があることを、子どもはもとより保護者にもしっかりと伝えましょう。